

食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第72回 2024年5月)



食いしん防は、会議などで発言するとき、しばしばしょーもない冗談を飛ばす。その場に10人いたとしたら、だいたい半数の人は笑ってくれる（苦笑いも含めてだが）。残りのうち3人くらいは、何が面白いのかわからずきょとんとしている（もしくは、つまらなすぎて笑えない）。

問題はあとの2人で、怖い顔で食いしん防を睨みつけているのだ。この人たちは、決して冗談がわからないわけではなかろう。寄席に行ったら笑っているに違いない。会議の場は笑うところではない、と決めているのだ。

食いしん防の身近にいる人で、およそ25年間にわたって笑っている顔を1度も見たことのない人がいた。前述のような場面で睨みつけてくるのはもちろんのこと、みんながリラックスして談笑するところでもニコリともしない。

何があっても笑わないと決めているのだろうか？ まさかユーモアがまったく理解できないとは思えないが…… まあそういう個性なのだろう、と理解していた。笑顔がなくともさしたる問題はない。睨みつけられるのは慣れている。



そんなある日のこと。詳細は書けないが、別のある人の身にアンラッキーな事態が振りかかった。本人は頭を抱えて落ち込んでいる。そこへ例の“1度も笑わない人”が通りかかった。



事情を聞いて「へえ、そんなことがあったのか」と言うその“笑わない人”の顔を見て、腰が抜けそうなほど驚いた。満面の笑みだったのである。落ち込んでいる知り合いを励ますためではない。面白くてたまらないという顔だった。

そこでふと思い出した。食いしん防の父親も、ふだんはまったく笑顔を見せないタイプだった。そんな父親が嬉しそうに笑うのは、TVで野球中継を見ていて、鼻唄チームの相手がエラーをした時だった。「けっけっけっ」と声まであげて大喜びだった。

“他人の不幸は蜜の味”とよく言うが、うちの父親も含め戦前に生まれた世代（とくに男性）は、「笑ってはいけない」「ふざけるのはダメ」というモラルの中で育てられたと思われる。他人の失敗や不幸を笑うのは、決して意地が悪いのではなく、それが数少ない“笑うことが許される”状況だったせいだ。先の“笑わない人”も、うちの父親と同世代だ。

さて、冒頭で紹介した食いしん防の冗談を睨みつけてくる人への対処法であるが、気にしないことにしている。半数に笑ってもらえれば大成功だ。さらにユーモアの質を高めて6割以上の人にウケるようになれば、笑わない人は少数派だ。

究極の目標は、妖怪人間ベラ似のうちの奥さまを笑わせることだ。こちらはかなりハードルが高い。最後の手段は、目の前で失敗してみせることかな？ あ、それだと怒られるだけだな……



TOPICS

☆新年度の防災推進員が決まる

全39自治会から、38人の防災推進員さんが選出された。嬉しいのは、これまで不参加だった自治会から出てもらってること！ 参加してよかった、と実感してもらえる活動ができるよう、頑張っていくつもりだ。

こんな活動がしたい、こんな研修を受けたい、という希望があれば、どしどしとまち協までリクエストしてください！

今年は、久しぶりに防災出前講座や体験の申し込みも入ってきている。ナイスガイ新部長のもと、食いしん防災部会一同、張り切って取り組みませー。



今後の活動予定

- 5月12日（日）防災出前講座（勝堂町）
- 17日（金）まち協総会
- 6月中旬くらい「こと防」全体会（研修）
- 9月13日（金）防災ゲーム体験（平柳町）

※ 出前講座の申し込み受け付けます！



勝手にQ&Aコーナー

Q：最近、四国沖で地震がありました。南海トラフ地震の前触れでしょうか？

A：専門家は否定していますが、**油断はなりません**。前触れのあるなしにかかわらず、南海・東南海トラフ地震は、いつ発生してもおかしくない時期に入っています。発生した場合、たとえ滋賀県の被害は小さくとも、生活には大きな影響が出るでしょう……って脅かすつもりはないんだけど、**備えはしておくに越したことはない**よね。

Q：冗談を言って睨まれるのは、**あなたに原因がある**のではありませんか？ 私もつまらなすぎる冗談を言う人には、殺意を覚えます。たとえば**私の夫**に対してです。

A：えーと、あなたは妖怪人間ベラに似てると言われたことありませんよね？ 夫にはやさしくしてあげてください。たとえどれだけしょーもない冗談を言われようとも、「あーあ、つまらなすぎて凍え死にそう」とは言わないでください。夫はとても傷ついています。

楽しい質問、お待ちしております！

(文責：こじまっちょ)

